

米山奨学生オリエンテーションに出席

4月7日日曜日、桜が満開で、人であふれる小田原城のすぐそば、小田原箱根商工会議所において、米山奨学生のオリエンテーションが行われました。

昨年度の張さんに続き、文教大学メディア表現学専攻の付・桂偉（フ・カイ）君を二年間、茅ヶ崎中央RCが世話クラブとしてお世話させていただきます。カウンセラーは松岡会員が、まずは一年間お務めいただきます。



奨学生は10時に集合し、確約書を提出し、奨学生の心得を聴講したようです。



米山奨学学友委員会に出向されている倉知会員も、午前中より準備のために会場入りし設営を行って来ていました。當間会長エレクトもクラブの代表として出席されました。13時からオリエンテーションプログラムが開始され米山奨学事業の説明に続き、フ・カイ君を始めとする29名の新奨学生・継続奨学生の自己紹介が行われました。まだ、たどたどしい日本語の奨学生もいれば流暢に話す方もいました。経済的な基準は判定項目になく、優秀でかつ日本との架け橋になりうる人材というのが選考基準だそうです。

フ・カイ君も大変優秀そうな学生さんです。その後、奨学生は学友会総会に、ロータリアンは、世話クラブ・カウンセラー研修を受けました。世話クラブとしての奨学生への接し方、カウンセラーの工夫例、そして奨学生にロータリー運動の良き理解者になってもらうことの大事さ、などの講義を受けました。



再び、合流して、全参加者に米山学友会の説明、世話クラブと奨学生の関係に関して聴講し、奨学生歓迎会となりました。

ご挨拶の中では奨学金を受けられなかった方の分もしっかり励んでほしい、カウンセラーは日本のお父さんお母さん、お兄さんお姉さんと思い奨学生とかかわっていただきたいし、奨学生にもそのように思って欲しい、そして、世界と日本の架け橋となり平和な社会づくりに貢献してほしいと、述べられていました。

茅ヶ崎中央RCの皆様も、新しい奨学生フ・カイ君のお父さんお母さん、お兄さんお姉さんになってあげてください。5月の例会より出席いただけます。



一回目の奨学金を受け取りました。

米山記念奨学事業は、ロータリアンからの寄付で、返済不要の奨学金制度です。世話クラブとカウンセラー制度もこの奨学事業の特徴です。125の国と地域からの留学生約2万人を支援してきました。